

『人手不足なのに、なぜ採用できない？ 人材会社から見た“採用のミスマッチ”』

「求人を出しているのに応募が来ない」「採用しても、なかなか定着しない」「経験のある人材を採用したいが、見つからない」。こうした声を、企業の採用担当者様から耳にする機会が増えています。

現在の採用市場では、単純に「仕事がないから人が集まらない」という状況ではありません。2026年の転職市場でも人手不足が続く一方、業界や職種によって採用需要には差があり、「人が足りない」というよりも、企業が求める人材と、働く側が求める条件との間にミスマッチが生じていることが課題となっています。

企業側には、「すぐに働ける人が欲しい」「経験者を採用したい」「土日や繁忙時間帯に勤務できる人が欲しい」といった希望があります。一方、求職者側にも、「希望する時間帯で働きたい」「未経験でも挑戦したい」「家庭や学校と両立したい」など、それぞれの希望があります。双方の条件が合わなければ、応募や採用、さらには定着にはつながりません。

特にホテル・飲食業界では、宴会サービス、レストラン、調理補助、スチュワード、客室清掃など、業務によって求められる経験や適性が異なります。土日祝日の勤務、早朝や繁忙時間帯への対応、接客への適性、チームワークなど、求人票の「時給」や「仕事内容」だけでは判断できない条件もあります。そのため、「応募者を増やすこと」と「現場に合う人材を採用すること」は、必ずしも同じではありません。

また、近年広がっているスポットワークは、急な欠員や繁忙日の人員確保に有効な手段です。一方で、業務習熟や継続的な勤務、現場との連携が求められる仕事では、固定的に勤務する人材のほうが適している場合もあります。重要なのは「スポットワークか、派遣か」といった二者択一ではなく、業務内容や企業の課題に応じて、人材確保の方法を使い分けることです。

私たち人材会社が考える採用とは、単に応募者を集めることではありません。「その仕事に合う人材」と「その人に合う仕事」をつなぐことが、重要な役割だと考えています。

「人が採れない」という課題にも、企業ごとに異なる理由があります。だからこそ、求人条件を見直したり、未経験者を受け入れる体制を整えたり、固定人材とスポット人材を組み合わせていたりするなど、現場に合った人材確保を考えることが大切です。

弊社では、人材派遣・有料職業紹介・業務請負を通じて、ホテル・旅館・飲食施設をはじめ、さまざまな業種の人材確保をサポートしています。採用や定着、必要な時間帯の人員確保など、人材に関するお悩みがございましたら、お気軽にご相談ください。